

エレテクスのLPG非常用発電機 CCTV 停電時、避難所向け等1kVA 発売へ



山口社長

LPガス・ガソリンを燃料としたハイブリッド可搬型発電機「ENESIS」の製造・販売を行うエレテクス㈱(長崎県佐世保市)は、フルパッケージ型LPガス非常用発電機(型式:EB-1000、定格出力:1kVA)を開発、来年4月から受注を開始する。エンジン、自動始動制御機器、容器を1つの筐体内に設置し防犯性に優れていること等が特徴。燃料の劣化・固着が無く、長期間の保管後でも良好なエンジン始動が可能なLPガスを燃料とし、30kg容器2本で72時間以上の連続運転ができる。上部のエンジン部と下部の容器収納部に不燃性隔壁を設けることで消防法等の離隔距離規制をクリアした。河川監視カメラ(CCTV)、通信基地局、信号機や電光表示板など無人の設備が停電の電源を想定し2年前用途開発に着手し本年、国土交通省が運営する新技術情報提供システム(NETIS)*に登録された。千葉県松戸市の建設技術展示館で実機を公開中。

〔山口正利社長コメント〕
当社は電気の修理業者と



して設立し、長年電気に携わってきた。近年災害が頻発しており、停電で不自由な人々の報道を見る機会が増え、LPガス仕様の開発に思い至った。災害時、液体燃料は入手が難しく保管期限もある一方、LPガスは供給が早く長期保管可能などメリットが多いことが理由だ。今後は3kVA、5.5kVA、7.5kVA、9.9kVAとラインアップを拡充し、避難所設置にも対応したい。

〔EB-1000概要〕▷本体寸法:W1,000×D1,150×H2,000mm▷始動時間:停電から電源切替まで40秒以内、全自動▷運転時間:連続72時間以上▷定格出力:単相1.0kVA▷エンジン:空冷式4サイクル▷重量:250kg(容器含まず)

*新技術に係る情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステム